

第5世代移動通信システム(5G)ワークショップ2016の結果概要

(The Workshop on the Fifth Generation Mobile Communications Systems (5G) - 2016)

- 主催 総務省
- 共催 第5世代モバイル推進フォーラム(5GMF)
- 日時 2016年10月5日(水)14:00~17:30
- 会場 幕張メッセ国際会議場コンベンションホールB
- 来場者 約600名

2020年の実現に向けて検討が進められている第5世代移動通信システム(5G)に関する第3回ワークショップを昨年に引き続き開催。今回は、5Gの実現に向けた国内外の取組、並びに、5Gの活用が想定される産業界から5Gの利活用に関する期待や要望を講演頂いた。

また、パネルディスカッションでは、2020年以降の5Gの世界における新たなモバイルサービス等について、意見交換がなされた。

- ◇ 開会挨拶 総務省/総務副大臣 あかま 二郎氏
- ◇ 基調講演 京都大学/特任教授・名誉教授 吉田 進氏
(5Gワークショップ組織委員会 委員長、
第5世代モバイル推進フォーラム会長)



会場の様子



総務省/総務副大臣
あかま 二郎 氏



京都大学/特任教授・名誉教授
吉田 進 氏

第5世代移動通信システム(5G)ワークショップ2016の結果概要

(The Workshop on the Fifth Generation Mobile Communications Systems (5G) - 2016)

プレゼンテーション概要

◇ セッション1: 5G実現に向けた国内外の取組

2020年の5G実現に向け、5GMFにおける5Gシステム総合実証試験の検討状況、並びに、中国、韓国における5G実現に向けた取組が紹介された。

- 日本(5GMF) 奥村幸彦氏(5GMF・5Gシステム総合実証試験推進グループ・リーダー)
【代理】 須山 聡氏(副リーダ)

テーマ: 5Gシステム実現に向けた総合実証試験

要旨: 総合実証試験のコンセプト、参加予定者、スケジュール、検証項目、実証の例などの紹介

- 中国 Dr. Wen Tong (Huawei Technologies Co., Ltd.)

テーマ: 5G Trial Activities in China

要旨: 中国におけるこれまでの5Gトライアル(Step 1)とその結果の紹介
今後(Step 2)のトライアルの目的、要求条件、スケジュールなどの紹介

- 韓国 Dr. Seongkwan Kim (Kt Corporation)

テーマ: KT 5G Plan; Recent Activities and Future Plan

要旨: 5Gの必然性と経緯、テクノロジー、韓国でのトライアル結果、
主なフィーチャーの候補の紹介
エコシステムとしての5G実現に向けた活動の紹介



Dr. Satoshi Suyama
5GMF



Dr. Wen Tong
Huawei Technologies Co., Ltd.



Dr. Seongkwan Kim
Kt Corporation

第5世代移動通信システム(5G)ワークショップ2016の結果概要

(The Workshop on the Fifth Generation Mobile Communications Systems (5G) - 2016)

プレゼンテーション概要

◇ セッション2: 5Gと利活用産業との連携

5GMFにおける5G時代の新しいモバイルサービスの検討状況、5Gの活用が想定される産業界や東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から5Gへの利活用に関する期待やご要望についてのご講演頂いた。

□ 岩浪剛太氏 (5GMFアプリケーション委員長)

テーマ: 5Gモバイル通信のためのアプリケーション開発

要旨: アプリケーション開発者の目を通した5Gへの期待、5G時代のアプリケーションに関する考察
近未来におけるワイヤレスサービスの利用イメージ



岩浪剛太氏(5GMF)

□ 菅沼英明氏 (トヨタ自動車)

テーマ: Connected Carの最新動向と5Gへの期待

要旨: ITSサービスの歴史と実現例などの紹介

自動運転実現に向けた取り組み、クルマと地域社会とのつながり、5Gおよび通信技術への期待



菅沼英明氏 (トヨタ自動車)

□ 桑原英治氏 (総合警備保障)

テーマ: 先進技術で進化する警備サービス

要旨: 警備システムとハイテクとの関わりとその利活用、サービスの多様化と拡大などの紹介と5Gへの期待



桑原英治氏(総合警備保障)

□ 井上淳也氏 (東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)

テーマ: 2020東京オリンピック・パラリンピックにおける5Gへの期待

要旨: リオ五輪でのトピックス、東京大会のビジョンなどの紹介と5Gへの期待



井上淳也氏
(東京オリ・パラ組織委員会)

第5世代移動通信システム(5G)ワークショップ2016の結果概要

(The Workshop on the Fifth Generation Mobile Communications Systems (5G) - 2016)

パネルディスカッション概要

講演者に加え、5GMF技術委員会・三瓶 政一委員長(大阪大学教授)をパネリストに迎え、5GMFの企画委員長代理の中村武宏氏がモデレータを務め、5Gを実現するための実証試験等の課題や通信業界以外の産業界との連携、一般の方々へも5Gへの関心を高める方法等について、意見交換が行われた。

- 今年のパネルディスカッションは、5Gを活用する産業分野・ユーザー業界からの参加が得られ、利用サイドとの意見交換ができた
- 日中韓それぞれで2年おきに五輪開催が予定されており、各国間での連携について意見交換が行われた。また各国で得られた知見の共有を行うほか、特に利用周波数帯の検討や技術仕様策定などでの連携の重要性・必要性などで意見の一致を見た
- 5Gのユーザー業界としては、“技術ありき”ではなく、利用側の課題や新たな価値創出に向けて『5Gならではの』明確化が求められ、またそれらの実現に向けて検討、議論などの協力・連携へ期待が寄せられた
- 5GMF技術委員会の三瓶委員長は、5Gの時代に求められる役割として情報配信だけではなく、(機械等の)制御の領域にまで広がることになり、技術面やビジネスモデルなど、これまでとは異なったアプローチでの検討の必要を指摘した



モデレータ
中村 武宏氏(5GMF)



パネリストの方々

パネルディスカッションの様子